

## 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

### 産学共同(育成型) 事後評価結果

|                     |  |
|---------------------|--|
| 体系的課題番号             | : JPMJTR20U5   |
| 採 択 年 度             | : 2020 年度  |
| 分 野                 | : アグリ・バイオ  |
| 研究開発課題名             | : 水産用ワクチンのイノベーション・ブレークスルー:キンギョヘルペスウイルス病に対する弱毒生ワクチンの実用化 |
| プロジェクトリーダー<br>研究責任者 | : 佐野 元彦(東京海洋大学)  |

#### 評価結果の総合所見

本課題では、キンギョのヘルペスウイルス性造血器壊死症に対する弱毒生ワクチン候補の有効性および環境への安全性の確認を目指すものである。

概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。

当該分野の医薬品開発企業と連携し、弱毒生ワクチンの実用化にむけて更なる展開に期待する。短時間・簡便な金魚のワクチン接種が可能な手法を開発したことは、高く評価できる。他の魚種やワクチンに対しても適用可能な汎用性が高い手法であり、波及効果も大いに期待できる。一方、ワクチンの環境漏出に対する安全性評価結果を踏まえ、実用化に向けては、稚魚への影響の確認と用法用量の検討が求められる。

以上